

留学生にとって、このプログラムはとてもいいプログラムだと感じました。日本語を勉強するのはもちろんのことですが、私のクラスでは日本の古いマンガである「サザエさん」を題材として学ぶことができました。また、勉強だけではなく、京都について色々な経験ができました。たとえば、ずっと行きたいと思っていた伏見稲荷神社にも行くことができました。また、科学や人文学の講義などを受講し、文化財も見学しました。加えて、京都府議場を見学することもできました。これらは大変珍しい機会だったと思います。

このプログラムのおかげで、日本の文化、マナー、日本での暮らし方について勉強になりました。それから、二週間も日本に住み、日本人と日本語をつかって話す機会があったため、常用の単語や表現がかなり増えました。一週間経ったころ、日本の友達から「日本語がうまく話せていますね」と言われ、嬉しく思いました。同様に、毎日日本語を聞くことで、以前より日本語を聞き取れるようになりました。

日本に来てから、良い経験ばかりだったように思います。まず、和菓子作り体験はとても心に残っています。ご担当のおじいさんとおばあさんはとても優しく作り方を教えてくださいました。それから、朝早く清水寺に行く機会があり、人が少なく、天気もよかったため、十分に日本らしさを堪能できました。清水寺ではタイ語が話せる日本人に会いました。その人は親切に色々案内してくださいました。そのこともあり、多くの日本人はやはり親切だと感じました。最高のイベントは、花火大会でした。混雑しており大変でしたが、美しい花火を見ると、疲れを感じなくなりました。ここの花火は必見だと思いました。

日本で勉強するのはこれが初めてでした。初日の授業から、私は日本語がまだ苦手なのがよく分かりました。これに気づいたことで、私はもっと日本語の勉強を続けなければならないと感じました。特に、方言に興味を抱きました。京都大学はとても有名な大学であり、他の地方からこの大学に入学する学生がたくさんいます。そのため、関西弁をはじめ、関東弁にも触れることができました。将来は日本語の方言について勉強しようと思っています。